

防風柵のご紹介

<港外からの強風に対し港内係留漁船を安全に守ってくれる>

私たちの漁港・漁場・漁村は、水産業を支える重要な基盤であり水産物の供給を安定的に行う重要な役割を担っています。

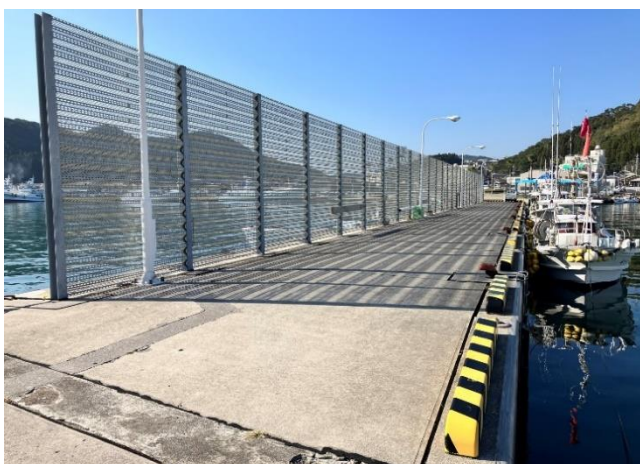
このような中、近年の異常気象による台風のモンスター化や風向の変化で、係留漁船の安全確保に影響が及んでおります。

防風柵を設置することにより就労の基盤である漁船を強風から安全に係留し、水揚げ作業や高齢化対策（転倒・転落等）の安全性の確保や、都度の避難港へ移動させる改善対策として有効であり、すでに設置した漁港の利用者からは「防風柵を設置して船の離岸着岸がやり易くなった」と喜びの声も挙がっております。

本会では漁船の安全対策としまして漁港への防風柵設置を推進しておりますので、設置希望や詳しいご案内等ありましたらお気軽に購買事業部までご連絡お願いいたします。

【防風柵の役割】

- ・ 強風（台風・季節風等）を軽減し係留漁船の破損・損傷・転覆等からの安全対策
- ・ 港内の静穏度の安定対策
- ・ 避難港への移動から自港内での係留促進対策
- ・ 漁船ドックにおける塗料の飛散防止軽減や横風からの転倒対策 etc.



【お問い合わせ先】 JF 宮崎漁連購買事業部 ☎ (0985) 28-6111